



海洋生命・分子工学セミナー
DC セミナー

ホヤリソースの高度化を目指して ～近交系カタユレイボヤの作出～

講師： 三田 薫 先生

(筑波大学下田臨海実験センター 研究員)

日時： 2月22日(水) 16:00～

場所： 共通教育棟 136 教室

海産無脊椎動物のホヤは、脊椎動物に最も近い姉妹群である尾索動物に分類されており、昔から発生学の研究などに用いられてきました。ホヤの一種であるカタユレイボヤは、そのドラフトゲノム配列が2002年に決定され、現在ではモデル生物として世界中で広く研究に使われています。一方で、カタユレイボヤゲノムには対立遺伝子間でおおよそ1.2%の多型が存在していることが明らかになりました。このような多型は遺伝的な個体差であり、個体間の実験結果にばらつきが生じる原因となります。この問題を解決するには、多型がなく、遺伝的背景が同一になっている系統“近交系”を用いることが必要です。我々は近交系カタユレイボヤの作出を試み、また、そのゲノム解析を進めています。本セミナーではカタユレイボヤリソースについて、近交系の話を中心に紹介します。



学部学生でも理解できるように話をさせていただく予定です。

分野外の教員、学生、その他どなたでも、興味のある方は是非お越しください。

セミナーに関するお問い合わせは藤原（tatataa@kochi-u.ac.jp）まで